



橋本院長の外来診療が始まります！

5月より、外科外来にて橋本院長の外来診療が始まります。

＜専門分野＞

総合外科・内視鏡外科・消化器外科・肝胆膵外科・
消化管外科・腹壁吊り上げ法手術など。

*診療日 : 毎週月曜日(午前)

【お問合せ】 医事課 62-5111

＜橋本院長プロフィール＞

東京大学医学部卒、東京大学医学博士
前埼玉医科大学総合医療センター外科教授
日本小切開・鏡視外科学会代表理事

院長談話「内視鏡外科医の心構え」 院長 橋本大定

群馬大学医学部附属病院の腹腔鏡手術で8名の患者が死亡し社会問題となっています。
より安全な腹腔鏡手術「皮下鋼線腹壁吊り上げ法」を自ら創案・開発した当院院長が、腹腔鏡手術についてシリーズでお話しします。

→ **次ページをご覧ください！**



市民講座に参加しませんか？

□4月「統合失調症」について

日時：4月24日(金) 午後4時 ~ 5時
講師：坂元 伸吾 医師 (当院非常勤心療内科医師)

受講料：無料 定員：40名

□5月「普通救命講習」

日時：5月16日(土) 午前9時 ~ 12時
講師：救急救命士、消防署職員

受講料：無料 定員：30名

会場：佐野市民病院 A棟5階研修室

申込：地域医療連携室に直接またはお電話で。

電話：62-9024(直通)

AEDを含む
心肺蘇生法を
身につけよう

□5月「介護保険説明会」

日時：5月18日(月) 午前10時 ~ 11時30分

会場：佐野市民病院 A棟5階研修室

受講料：無料

申込：地域包括支援センターへ直接またはお電話で。

電話：62-8281(直通)



＜高圧に基因する合併症が一切発生しない腹壁吊り上げ法手術の特長＞

1. 重大な死亡事故につながるガス塞栓が発生しない。
2. 後腹膜が圧排されないため、肺梗塞が発生しない。
3. 横隔膜が圧排されないため、心肺への負荷がなく、無気肺や不整脈がない。
4. 横隔膜の自由な動きに応じて、電気メスの煤煙が腹腔外へ自然流出し、常時良好な視野が保たれる。
5. 逆流防止弁付き外套管を必要としないため、長紺子類の操作がスムーズにおこなえる。



群馬大学医学部附属病院の腹腔鏡手術で8名の患者が死亡し社会問題となっています。

腹腔鏡手術は、1980年代の後半にフランスやドイツで開発された外科手術法で、1990年の当初、我が国に導入され、**傷が小さく、術後の痛みも少なく、社会復帰も早い低侵襲手術**として爆発的に普及し、今日ではあらゆる外科領域に普及を見ている手術です。しかし、患者に優しい素晴らしい手術として高い評価を受ける半面、それまでの大開腹手術ではおよそありえなかった特異な合併症で苦しむケースや、死亡例が今日でも出続けており、四半世紀を経た今日、外科医達も反省すべき時を迎えているのではないのでしょうか。

腹腔は、腹膜で閉鎖された空間で、壁側腹膜（おなかの筋肉を裏張りしている筋膜）と臓側腹膜（腸管筋の外膜）とのわずかな空間に、リンパ液が潤滑油のように貯留しています。そのわずかな隙間に、体外から針を刺し入れて、炭酸ガスを高速で注入し壁側腹膜を前方に挙上する一方で、後腹膜（後方の臓器を覆う腹膜）を後方に広く圧排し、必要な手術空間を作成します。

壁側腹膜と臓側腹膜の間に気体を圧入する方法は、**気腹法**と呼ばれ、腹腔鏡手術の登場以来、腹部を切開することなく内視鏡手術に必要な空間を作成する簡便な方法として、今日でも広く愛用されていますが、この方法には、いくつかの危険な側面があります。まず、体外からの穿刺針の先端が、わずかな腹膜間腔を通過して、腸管穿刺となると腸管爆発、膀胱穿刺となれば膀胱爆発、血管穿刺となれば気体塞栓（気体が血管内に注入されること）で突然死となる危険があります。

一方、手術する立場からは、腹腔に注入する気体の圧を高くすればするほど良好な手術視野を得ることができます。しかし、身体他の部分（頭部、手足、胸腔など）が平圧で、腹部だけが高圧という環境は、生体にとっては**危険な異常環境**なのです。腹部だけが高圧という異常環境下では、もしも破綻した腹部の血管から、圧力差で、気体が血管に流入すると、大変な問題となります。気体が圧の低い脳に流入すると脳梗塞などの危険が増すのです。

また、腹部の下大静脈の圧迫で下肢の静脈環流が阻害され続けると、血栓が形成されますが、それが、**気腹法**の解除時、肺に飛ぶと肺梗塞という致命的事態を引き起こします。更に言えば、気腹下では剥離面で少々血管を損傷していても、術中は腹部の圧が高いため圧迫止血のようになり出血を見ないため、円滑に手術を進められるという利点がありますが、この反面、手術終了時、気腹を解除すると、平圧に戻った腹腔に大量の出血（後出血）を見て、患者はショックに陥るといった危険を伴うのです。



気腹で作った腹腔空間に、特殊な長い紺子や内視鏡を挿入し、遠隔操作で行う腹腔鏡手術は、例えて言えば、天井から長い箸を差し入れて料理を作るようなものなので、大変困難を伴うものなのです。気腹法に伴うこれらの問題は、すでに、皆様ご存知の刑事有罪となった慈恵医大附属青砥病院の腹腔鏡下前立腺切除術でも、その死因のひとつとして、取り沙汰されてきました。

今回の群馬大学医学部附属病院の事件では、腹腔鏡下の肝切除が問題となっていますが、腹部の全ての臓器の血流が門脈に集まり、肝動脈、肝静脈に加え胆道系が複雑に錯綜し、一言でいえば血管の塊と称しても言い過ぎではないような肝臓を対象として内視鏡手術を行う場合、死亡例が出てもおかしくはないのです。その意味で、事件は群馬医大だけに限らず、今日、大学病院をはじめ、ほとんど全ての市井の病院で犠牲者が出続けていることが危惧されます。

私は、東京警察病院の外科部長を務めていた1991年の春、5例、気腹下で腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行、幸い犠牲者は出なかったものの、いつの日か私は殺人をしてしまうことになると確信し、異常環境となる気腹法を一切用いることなく、大開腹手術と同じ平圧下で、より安全に内視鏡手術をする腹壁吊り上げ法を創案し、爾来、紺子やカメラの開発・改良に加え、さまざまな術式の工夫を重ねた結果、完全内視鏡手術（全ての手術操作を遠隔鏡視下でおこなう手術）は、患者の安全のために適応を限るべきで、術者の技量と症例毎の手術の困難性に依りて、その都度、適切な小切開を設け、直視下手術と内視鏡手術をバランスとすることで、より安全な内視鏡手術が構築できるようになりました。

振り返り見れば、百余年に亘って先達が営々と構築してきた手術ほど安全な手術はないのです。腹腔鏡手術は、過去の安全な手術が確立された後にデビューした新しい手術法である以上、大開腹手術の安全性とせめて同等か、それ以上でないならば、それを低侵襲手術として標榜することは許されないと考え、私は日々の臨床に取り組んでいます。

小切開・鏡視外科学会代表理事

に皮よる鋼線腹鏡壁吊り上げ法

大開腹手術の肝胆道系アトミー

腹腔鏡手術の肝胆道系アトミー

Advanced Techniques in
GASLESS LAPAROSCOPIC SURGERY
Abdominal Wall Lifting with Subcutaneous Wiring
D Hashimoto
World Scientific





たばこをやめて健康な体を取り戻そう！

有害物質・PM2.5による健康被害が懸念されていますが、PM2.5の微粒子はたばこの煙にも多く含まれていることをご存知でしょうか？たばこの煙に含まれるPM2.5は、ニコチンやタールなど、200種類以上の有害物質が含まれていて、大気中のPM2.5よりも毒性が強いといわれています。

たばこの煙は、肺がんをはじめとする多くのがんや、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、脳卒中、冠動脈（心臓）疾患、歯周病、胃潰瘍など、さまざまな病気を引き起こします。そのリスクは喫煙者のみならず、周りにいる人（受動喫煙）にも及びます。

毎年5月31日はWHO（世界保健機関）が定める「世界禁煙デー」です。自分自身や、身近な大切な人の健康を守るために、世界禁煙デーをきっかけに、禁煙をはじめましょう。
～協会けんぽホームページより引用～

＜禁煙外来診療日＞＊診療は予約制です。

担当：塩原 太一 医師（毎週火曜日の午後）



＊ ＊ ご寄附をいただきました ＊ ＊

患者様のご家族様よりポータブルトイレをご寄附していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



外来診療のご案内



＜受付時間＞ 午前8時～11時 : 午後1時～4時

＜診療科目＞ 内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／消化器外科／
脳神経外科／麻酔科／小児科／婦人科／眼科／皮膚科／泌尿器科／
耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／整形外科／放射線科／外科

＜休診日＞ 第2・4土曜日／日曜日／祝日
（＊第1・3・5土曜日は、午前中のみ診療しております）

＜診療予定＞ 事前にお電話でお問合せください。

予告なく診療予定が変更になる場合がございます。事前にお電話等でご確認をお願いいたします。また、診療の予約、キャンセル、変更は下記の時間帯にお電話をお願いいたします。

＊お電話での受付時間＊ 月曜日～金曜日 午後2時～5時30分

○糖尿病・腎センター○

＜診療日＞ 月曜日～土曜日（午前・午後）
＜休診日＞ 日曜日（＊祝日は診療しております）



〒327-0317 栃木県佐野市田沼町1832番地1
【TEL】0283(62)5111（代） 【FAX】0283(62)0811
佐野市民病院Eメール sinsoumu@sanoshimin-hp.net
佐野市民病院ホームページ http://www.sanoshimin-hp.net/

